

令和4年度 三根東小学校学校経営方針

1 全体構想

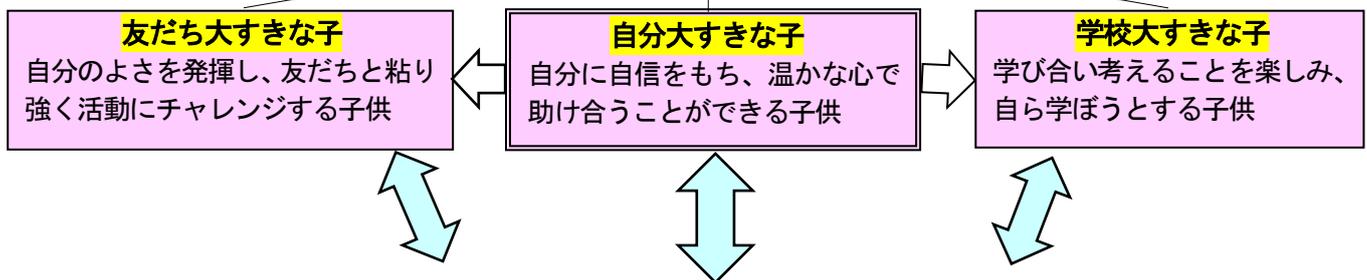
(1) 学校教育目標とめざす児童像

本校は、これまで「夢にチャレンジ東っ子」をキャッチフレーズに、地域を生かした教育活動に取り組んできている。その理念を大切に、今年度は、次のような具体的な児童像を掲げ、学校教育に取り組んでいく。特に「自分に自信をもち、温かな心で助け合うことができる子供」という児童像を柱としながら「友だち大すき」そして、「学校大すき」な児童をめざしていく。

学校教育目標 「**元気いっぱい 笑顔あふれる**」 児童の育成

～ 自分大すき、友だち大すき、学校大すきな子供 ～

めざす児童像



(2) 教師・児童がめざす重点行動目標

 **ひがしっ子の「スローガン」** 

- (1) 「み」・・・「みんな・じぶん」のいのちを大切にする子 (いのちのつながりを大切に)
- (2) 「ね」・・・ねばり強くチャレンジする子 (銀のかぎ・・・友だちと力を合わせて)
- (3) 「ひ」・・・ひとにやさしく助け合う子 (金のかぎ・・・友だちや周りの人を大切に)
- (4) 「が」・・・「ありがとう」と感しゃできる子 (人やもの、周りの自然にも)
- (5) 「し」・・・しっかり考え、えがおで学びあう子 (考えを伝え合い、高め合う)

(3) めざす教師像

- 教育愛に満ち、温かさ溢れる教師
- 子供のよさを見抜き、伸ばし、成長を喜ぶ教師
- 研修に励み、協働し学び合う教師
- 子供・保護者・地域に信頼される教師

(4) めざす学校像

- 元気な声とあいさつが響き合い、子供・教師の笑顔が輝く学校
- 友だちと共に生き生きと粘り強く学び合う学校
- 美しく安心・安全で家庭や地域と連携し合い、信頼される学校

2 学校経営の重点目標と具体的方策

(1) 心の安心を育む学校風土の確立と児童の自己肯定感の向上（自分づくり）

- ① 児童のよさが生きる予防的・開発的な生徒指導の推進
 - ・「出番・役割・承認」活動を生かした生徒指導の充実（小中連携による生徒指導の推進）
 - ・心が温かくなる言葉や行い、情報機器の安全で正しい使い方の指導
 - ・「よい子のきまり」への全職員での指導の徹底（あいさつ、廊下歩行、掃除、言葉遣い、時間、服装）
 - ・気になる子の「報告・連絡・相談」による情報共有とチームによる即時指導の徹底
- ② 心の安心を支える教育相談・特別支援教育の充実
 - ・QUの効果的活用とSC,SSWと連携した教育相談の充実
 - ・生活アンケートや日常観察等による不登校の予防、問題の早期発見と即時対応
 - ・特別な支援が必要な児童が生きる全職員による共通理解と校内支援体制の確立
 - ・特別な支援が必要な児童の実態に応じた個別の支援計画の充実
- ③ 「いのちを大切にす」安心・安全な学校づくりへの取組
 - ・ヘルメット、防犯ブザーの確実な着用と保護者、地域のサポーター隊との連携
 - ・児童の実態に即した避難訓練等による危機回避能力の育成
 - ・全職員による交通安全指導や登下校指導と安全点検の徹底
- ④ 豊かな心を育み一人一人を大切にす道徳教育の推進
 - ・各教科・領域、体験活動との関連を図った道徳授業の工夫
 - ・心を育む無言清掃の継続と徹底

(2) 豊かな体験活動の充実と地域を生かした教育活動の推進（仲間づくり）

- ① 児童の「よさを見抜き、認め、伸ばす」支持的風土のある学級・学校づくりへの取組
 - ・「心タイム」でのよさ見つけ活動による自己肯定感の醸成とより良い人間関係の構築
 - ・教師、保護者による「児童のよさ」の称賛、価値付けによる承認活動の充実
 - ・自分や友だちの命について考える「命を考える日」や人権・平和集会の工夫
- ② 仲間のよさが実感できる特別活動などでの体験活動の充実
 - ・縦割り遊び、縦割り活動・清掃による所属感や連帯感、互いを思いやる心の育成
 - ・学級活動、委員会、児童集会等を通した自主的・創造的体験活動の充実と達成感の醸成
 - ・体育的行事やスポーツチャレンジ、縦割り活動等による体力づくりへの取組
- ③ 地域とふれあい、ふるさとを愛する心を育む体験活動の工夫
 - ・地域の「人・もの・こと」を効果的に活用した体験活動や交流活動の充実（地域人材リストの充実）
 - ・三根西小、三根中との交流活動を通した小小連携・小中連携の推進
 - ・学級、学校、地域の人が笑顔になれるボランティア活動の工夫と実施による充実感の醸成
- ④ 夢に向かい自分の体験や成長を振り返るキャリア教育の工夫
 - ・自分や友だちのよさを実感できる体験活動の振り返りの工夫
 - ・キャリアパスポートへの共通理解と体験振り返りの効果的活用

(3) 確実な学力向上と主体的・対話的で深い学びの推進（学びづくり）

- ① 基礎的・基本的学習内容の定着と活用力の向上
 - ・「学習のきまり」の徹底と「学び方」（聞く・話す・姿勢）の定着
 - ・朝の素読、学習タイム等の継続による基礎的・基本的内容が「できる喜び」の醸成
 - ・言語活動の充実による思考力・判断力・表現力の育成（対話活動、板書・ノート指導の工夫）
- ② 一人一人を大切にす授業づくり
 - ・諸調査等による児童の実態把握に基づいた個別指導の徹底とTT少人数指導の充実
 - ・「課題提示」「学び合う活動」と「振り返り」を位置づけた「三根東小スタイル」授業の確立（わかる喜び・考える楽しさ・共に学ぶ充実感を保障する授業）
 - ・電子黒板、タブレットPC等のICT機器の効果的活用
 - ・小中連携による授業研究の推進
- ③ 家庭学習の推進と家庭教育力の向上
 - ・発達段階に応じた「自学」への取組による自主的学習の定着
 - ・「家庭学習強化週間」の充実と「家庭学習のこころえ」の効果的活用
 - ・小中連携による家庭学習の推進
 - ・年間読書目標数を目指した読書活動の推進（1年～4年：80冊、5・6年：100冊）